

一般会計・特別会計 令和2年度 決算概要

皆さんに納めていただいた税金や国から配分された地方交付税などの収入によって、市が行った事業や財政状況の概要をお知らせします。
【詳細】 財政課 ☎ 381-1010

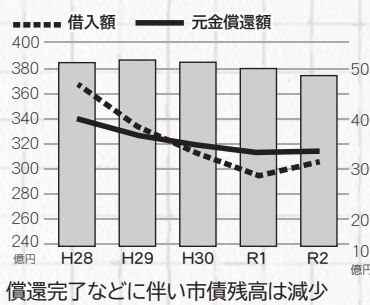
一般会計の概要

形式収支（歳入歳出の差引）は10億6,878万円の黒字、実質収支（形式収支から翌年度繰越財源を差引）は9億9,477万円の黒字になりました。歳入歳出の詳細は下記を参照ください。

地方債

令和2年度末の地方債残高は、378億7,501万円で前年度と比較すると0.5%減少しました。

市債残高の推移（一般会計）



健全化判断比率

江別市の健全化判断比率

一般会計

歳入

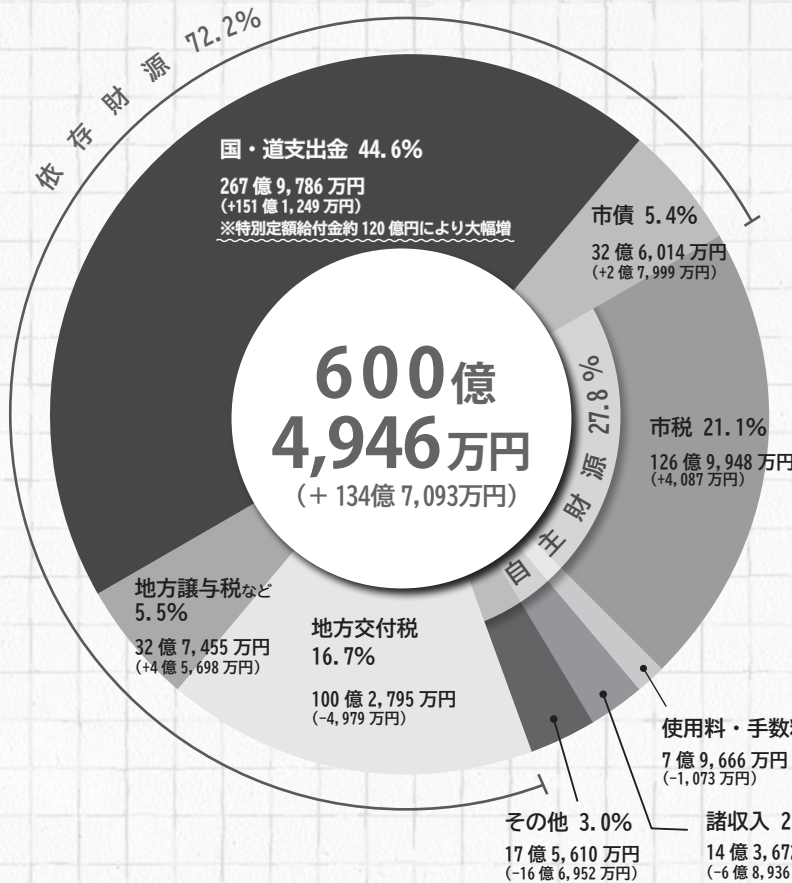
()内は前年度との比較

決算額は前年度に比べて28.9%の増加となりました。

地域の特性を活かしたまちづくり、自主的な自治体経営を進めていくためには財政基盤の安定性や財政の健全性確保が不可欠です。引き続き市税の収納率向上や産業振興を図り、自主財源の充実、確保に努めます。

また、令和2年度はふるさと納税3億9,492万円をはじめ、個人、団体合わせて6億905万円の寄附金がありました。右表で【その他】に分類されています。

寄附金は、新型コロナウイルス感染症対策・環境・福祉・教育事業など、寄附の趣旨に沿って活用しています。



用語

【市税】市民税、固定資産税、都市計画税など【使用料・手数料】公共施設の使用料、住民票発行・ごみ処理手数料など【諸収入】貸付金の返済金や宝くじの交付金など【その他】基金の取り崩し、前年度繰越金、寄附金など【地方交付税】一定水準の行政サービスを行うために国から配分される交付金【地方譲与税など】国が徴収した特定の税のうち、一定の基準で地方に配分されるものなど【国・道支出金】道路などの社会資本整備や障害者自立支援給付など、特定の事業に対する国・道からの負担金・補助金など【市債】施設や道路建設などに関する借入金

会計名	借入額	限度額
一般	0円	100億円
水道	0円	1億円
下水道	0円	6億円
病院	5.5億円	40億円

会計名	残高
一般	361億3,808万円
水道	21億8,575万円
下水道	100億6,778万円
病院	46億2,505万円
合計	530億1,666万円

区分	数量	市民1人当たり
土地	654万6,640㎡	54.66㎡
建物	36万105㎡	3.01㎡
各種基金(現金等)	67億9,768万円	5万6,753円
各種基金(土地)	16万1,995㎡	1.35㎡
債権		
有価証券	8億9,131万円	7,441円
出資金		
車両	117台	—

令和3年10月1日 現在の人口119,777人

意見公募(パブリックコメント)を募集します

● 新年度予算(案)令和4年度予算編成過程における意見

令和4年度予算編成過程で、市民の皆さんと情報を共有し、協働のまちづくりを進めていくため、令和4年度予算案の一部について予算要求状況をお知らせし、意見を募集します。

募集期間 12/9(木)～1/7(金) (必着)

意見の提出方法 所定または任意の様式に住所・氏名を明記し、郵送・ファクス・メール・持参。電話不可

意見の公開 個人を特定されない形で市HPなどで公開予定

資料の配布場所 市役所1階情報公開コーナー、市大麻出張所、水道庁舎証明交付窓口、市民交流施設「ぶらっと」、豊幌地区センター、鉄南地区センター、情報図書館、市民会館、各公民館、市ホームページ

提出先・詳細 財政課 ☎ 067-8674 高砂町6

FAX:381-1070 Email:zaisei@city.ebetsu.lg.jp

特別会計

歳入

国民健康保険	121億9,080万円
後期高齢者医療	18億3,109万円
介護保険	104億7,018万円
基本財産基金運用	1億2,310万円

歳出

国民健康保険	120億7,161万円
後期高齢者医療	18億2,702万円
介護保険	101億1,187万円
基本財産基金運用	1億2,259万円

差引収支額

国民健康保険	1億1,919万円
後期高齢者医療	407万円
介護保険	3億5,831万円
基本財産基金運用	51万円

入湯税・都市計画税の使途

入湯税 (2万3千円)

環境衛生施設の整備	環境クリーンセンター経費など	8千円
消防施設などの整備	消火栓の維持管理など	7千円
観光振興	江別観光協会補助金など	8千円

都市計画税 (9億6,230万円)

公園事業	公園管理事業など	1億8,755万円
下水道事業	雨水処理等負担など(下水道事業会計繰出金)	7億6,797万円
土地区画整理事業	土地区画整理事業など	678万円

企業会計

水道・下水道事業会計決算はP12、市立病院の決算は、広報えべつ10月号P2を参照ください。

健全化判断比率

指標	健全化判断比率	※1	※2
実質赤字比率	該当なし	12.05%	20%
連結実質赤字比率	該当なし	17.05%	30%
実質公債費比率	6.3%	25%	35%
将来負担比率	16.8%	350%	

※1 早期健全化基準(黄信号) ※2 財政再生基準(赤信号)
を超える項目はありませんでした

は、いずれも基準値をクリアしています。
前年度決算数値と比べると、実質公債費比率は、地方債の元利償還金の減少などにより、数値が改善しました。
将来負担比率は、地方債残高および公営企業債等繰入見込額の減少などにより、改善しました。
実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字決算のため、指標は算定されません。

一般会計

歳出

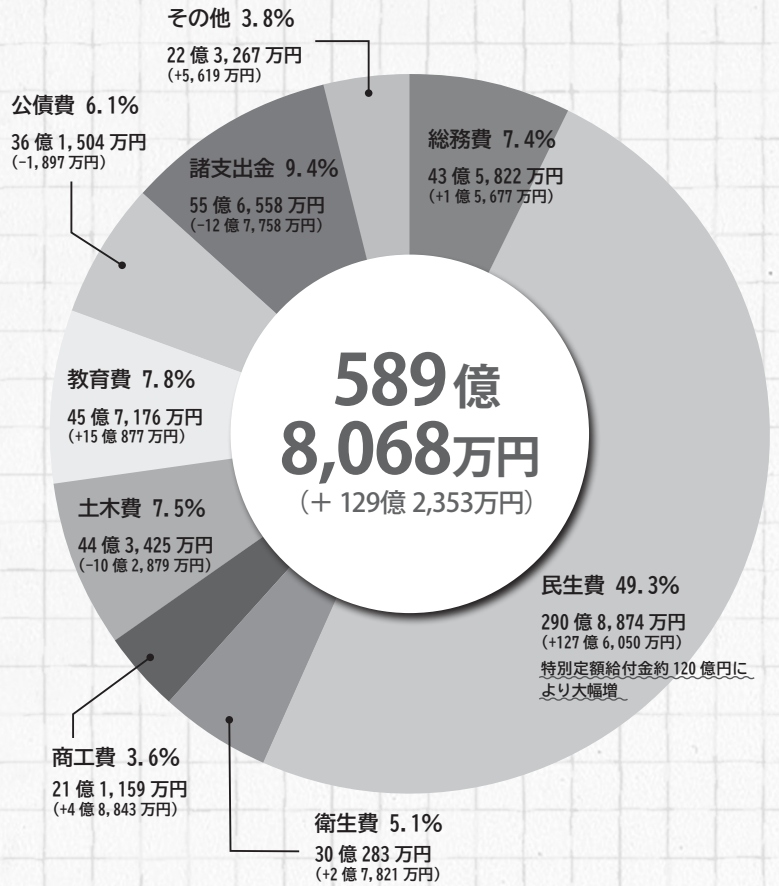
()内は前年度との比較

決算額は前年度に比べ28.1%の増加となりました。

大幅に増加した要因は、特別定額給付金(市民1人当たり10万円を給付)によるもので、幼児教育・保育無償化の通年化に伴う給付費の増加などを合わせて、民生費は127億6,050万円(78.2%)増加しました。その結果、民生費の割合が高くなり、全体の約半分を占めています。

教育費は、小中学生への1人1台タブレット導入などにより15億877万円(49.3%)増加しました。

土木費は、江別の顔づくり事業の完了などの影響で、10億2,879万円(18.8%)減少しました。



用語

【総務費】戸籍・住民基本台帳、庁舎管理など【民生費】医療・福祉の費用など(児童手当、後期高齢者医療費、障害者自立支援給付金など)【衛生費】健診、予防接種、ごみ処理、葬斎場、墓地など【商工費】商工業、消費者保護、観光など【土木費】道路、橋りょう、公園、除雪、治水など【教育費】義務教育費、体育館・図書館など【公債費】地方債の元利償還金など【諸支出金】特別会計への繰出金など【その他】議会、労働、農林水産業、消防
※職員給与費は各科目に分類しています

令和3年度

上半期予算 執行状況

	歳入予算額	収入済額	執行率	歳出予算額	支出済額	執行率	
一般会計	511億7,746万円	225億4,792万円	44.1%	511億7,746万円	200億6,748万円	39.2%	
特別会計							
国民健康保険	122億8,000万円	48億5,931万円	39.6%	122億8,000万円	48億8,358万円	39.8%	
後期高齢者医療	19億800万円	6億5,050万円	34.1%	19億800万円	6億646万円	31.8%	
介護保険	113億5,664万円	47億6,136万円	41.9%	113億5,664万円	41億8,670万円	36.9%	
基本財産基金運用	1億1,500万円	167万円	1.5%	1億1,500万円	138万円	1.2%	
企業会計							
水道事業	収益的収支	26億8,634万円	11億4,553万円	42.6%	23億9,697万円	8億2,441万円	34.4%
	資本的収支	3億1,123万円	0円	0.0%	15億279万円	11億1,263万円	74.0%
下水道事業	収益的収支	35億4,798万円	11億7,306万円	33.1%	34億650万円	6億4,397万円	18.9%
	資本的収支	11億6,792万円	2,470万円	2.1%	21億590万円	13億7,495万円	65.3%
病院事業	収益的収支	65億5,550万円	37億738万円	56.6%	66億7,748万円	26億7,935万円	40.1%
	資本的収支	7億7,768万円	4億5,498万円	58.5%	10億5,499万円	5億504万円	47.9%